

# モビリティサービス 概要と事例紹介

地域の足(ちあバス)・チョインコ・カーシェア(トヨタシェア)

# 1. 様々なモビリティサービス

# Mobility for ALL ~すべての人に移動の自由を~

トヨタグループの移動を支えるアイテムで、地域のMobility for ALLを実現

トヨタ自動車提供サービス

トヨタグループ/関連会社提供サービス

## MaaSプラットフォーム 他交通事業者

本企画においては説明省略  
(マルチモーダル、外出促進アプリ)



## 観光コンテンツ

SmartGOTO  
(デマンドを含む総合生活プラットフォーム)



## 生活関連サービス

レンタカー/カーシェア  
(有償貸渡事業)



## TOYOTA MOBILITY PORTAL /Booking Car



通所介護施設向け  
送迎デジタル化ツール



福祉介護・共同送迎の仕組み  
+介護送迎の空き時間活用



チョイソコ/MONET/ちあバス  
(予約に応じて運行するデマンド型乗合型バス)



## 医療・行政MaaS



多様な  
モビリティ



本企画においては説明省略

ウェルキャブ



C+Walkシリーズ

全ての人のライフステージに  
合わせた多様なモビリティ商品  
を拡充、提供

都市部

過疎/高齢化地域

## 困りごと

二種免許のドライバーが不足している

自家用車を利用した低成本の運営をしたい

システムを用いて運行を効率化したい

地域住民の移動の利便性を高めたい

免許を保有している若年層の日常の移動手段を確保したい

観光の二次交通を確保したい

## おすすめの対応方法



## 公共ライドシェア

交通空白地などにおいて、市町村やNPO法人などが、自家用車を活用して提供する有償の旅客運送



## AIオンデマンド

配車予約からAIが最適な乗合運行ルートを決定する、バスとタクシーの中間的な性質を備えた効率性の高い運送



## カーシェア

必要な時だけ車を借りるサービス、公共交通機関の利用を補完し、交通渋滞や駐車場の負担を軽減



…多く利用されている事例



…新たな活用方法

## 事例

## 高齢者の移動課題解決



## 介護施設送迎及び高齢者の移動課題解決



## 高齢者の移動課題解決



## 子どもの移動課題解決



## 観光客の二次交通確保



## 公用車の効率活用



## 学生の移動課題解決

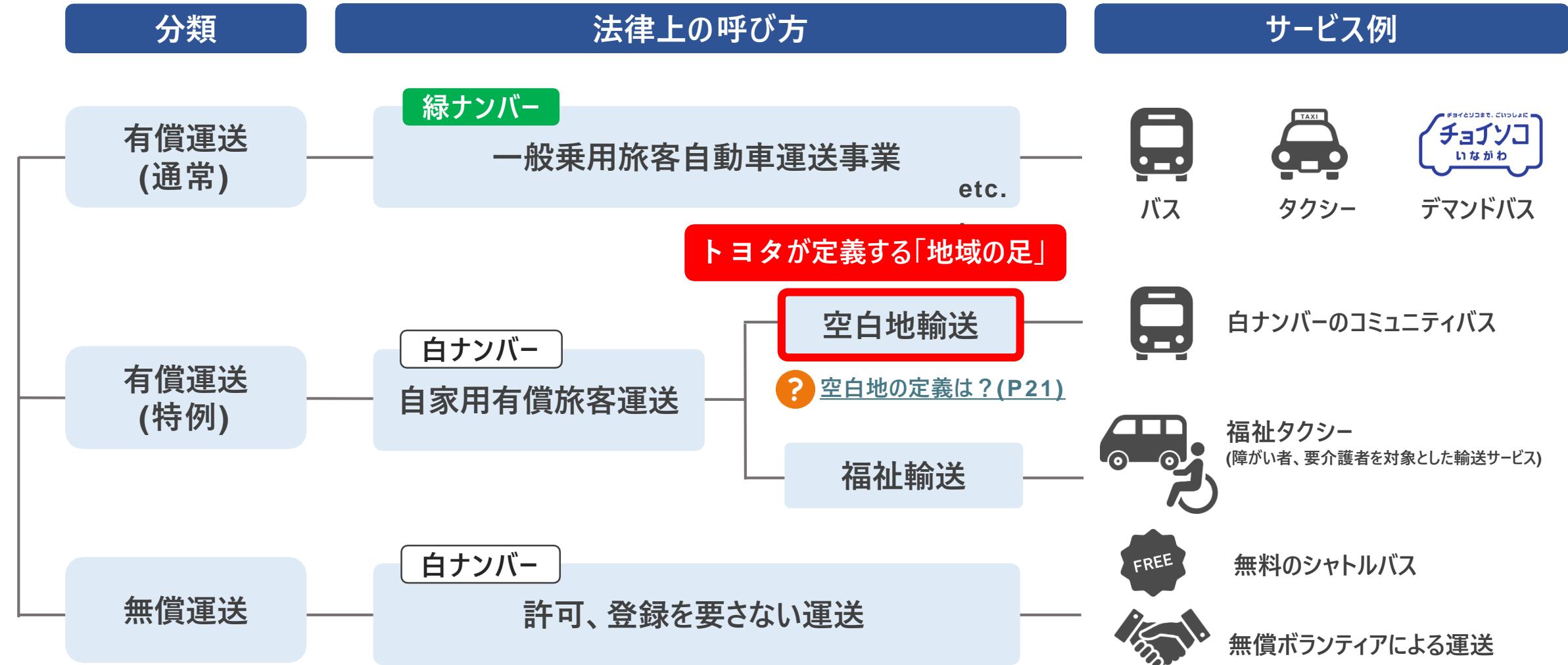


## 観光客の二次交通確保

## 2. 定義について

# 運送形態の分類

・「地域の足」を「**交通空白地における自家用（白ナンバー）有償運送**」と定義



## (参考) 交通空白地の定義

### ・「公共交通が一定の距離の範囲内にない地域」を指すが、厳密な定義はなし

※国土交通省「地域公共交通づくりハンドブック」より抜粋

**駅やバス停から一定の距離を越えた地域が、地域公共交通の空白地域になります。**

都市と地方では、この「一定の距離」の捉え方にも幅が見られます。

都市では、駅からは半径500m以上、バス停から半径300m以上、

地方では、駅から半径1000m以上、バス停から半径500m以上を空白地域と捉える場合も見られます。

地形の高低差や住民の意識なども考慮し、徒歩での利用が敬遠される距離を基準とするべきです。

### ・地域の事情をふまえて設定

- 上述の「駅・バス停からの距離」に加えて、「タクシーのカバー状況」「勾配等の地理条件」「高齢化率等の人口条件」などを加味

### ・公共交通会議にて関係者の合意の元、決定

## (参考) 許可・登録を要さない運行の条件

|        |   |
|--------|---|
| 利用運賃   | <p>運送に要した燃料費、道路通行料及び駐車場代のみ受け取り可能</p> <p>※上記費用を超える費用負担が発生する場合は自己負担or自治体等からの補助</p>  |
| 運行主体   | <ul style="list-style-type: none"><li>・自治体、NPO、自治会等</li></ul>   |
| 運転者    | <ul style="list-style-type: none"><li>・二種免許取得者</li></ul> <p>一種免許取得者かつ国土交通大臣が認定する講習を修了していること、又はこれに準ずるものとして国土交通大臣が認める要件を備えていること</p> |
| 運転者の報酬 | <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者から運転者に運送の対価となるような報酬や謝礼を支払うことはできません。</li></ul>   |

# 「地域の足」/「チョイソコ」/「MONET」の簡易比較

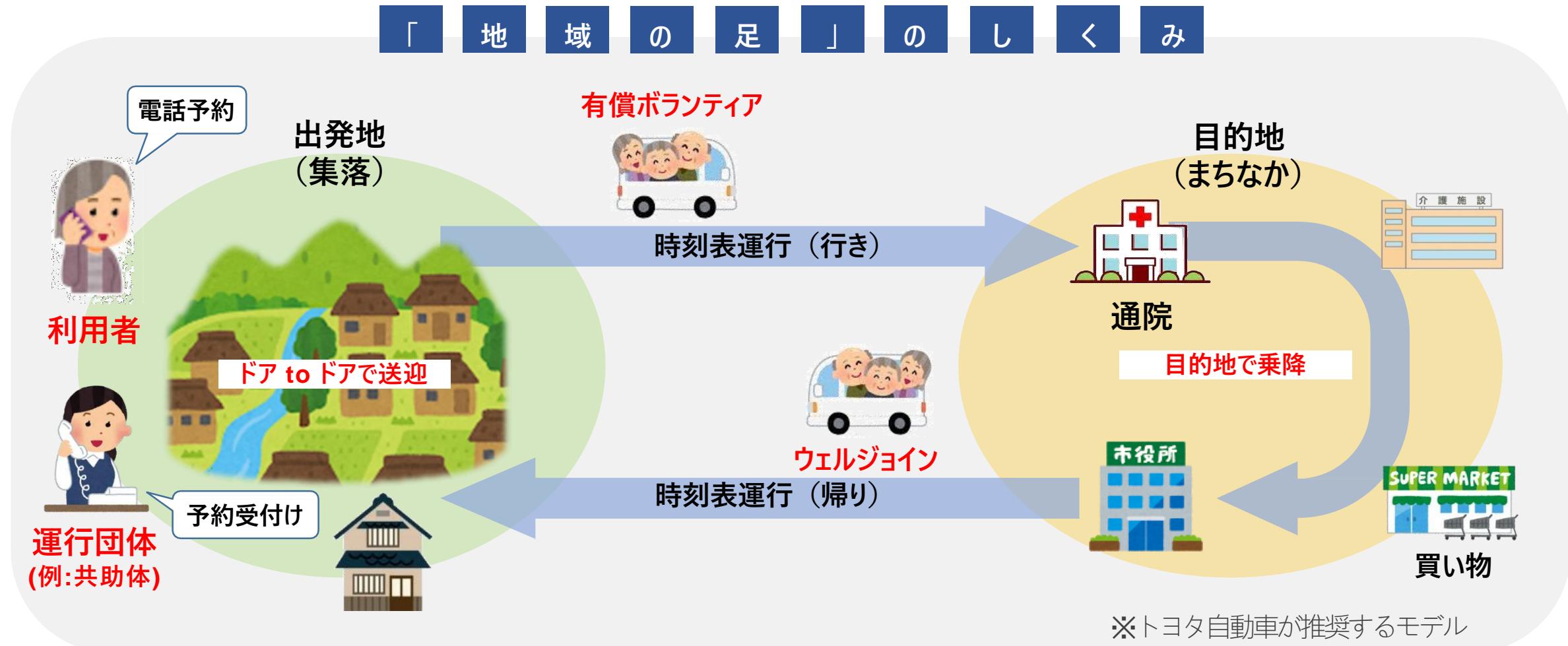
- ・事業コスト、運用主体の関与度で各サービスで差あり
- ・地域の足は他サービスと比べると「**低成本での運営が可能**」かつ、「**運用負荷が少ない**」

|         | 【地域の足】   | 【チョイソコ】   | 【MONET】  |
|---------|--|---|--|
|         | <p>「自家用有償旅客運送制度」を活用した<br/>住民同士の支えあい交通<br/>・基本的には当該地区の住民が対象</p>  | <p>(株)アイシンの移動支援サービスを活用した<br/>デマンド型交通<br/>・会員登録が必要</p>  | <p>MONETプラットフォームを活用した<br/>オンラインマッチングモビリティサービス<br/>・会員登録、アプリダウンロードが必要</p>  |
| ①事業コスト  | <p><b>小</b><br/>(ボランティア活用による人件費削減)</p>   | <p><b>中~大</b><br/>(ドライバ一人件費、システム利用料等)</p>   | <p><b>中~大</b><br/>(システム利用料等)</p>   |
| ②販売店負荷  | <p><b>小</b><br/>(スキーム提案が中心※自治体が主体)</p>   | <p><b>小~大</b><br/>(提案中心～事業主体まで様々)</p>   | <p><b>小~大</b><br/>(提案中心～事業主体まで様々)</p>  |
| ③展開可能地域 | <p><b>交通空白地域のみ</b><br/>(原則)</p>  | <p><b>全地域実施可能</b><br/>(事業性は要検討)</p>   | <p><b>全地域実施可能</b><br/>(事業性は要検討)</p>  |

### 3. 地域の足(ちあばす)について

# 概要

- ・自家用有償旅客運送法に基づき、交通空白地において、高齢者の**移動の足**を確保する仕組み
- ・地域のボランティアドライバーが**ウェルジョイン**を活用して運行



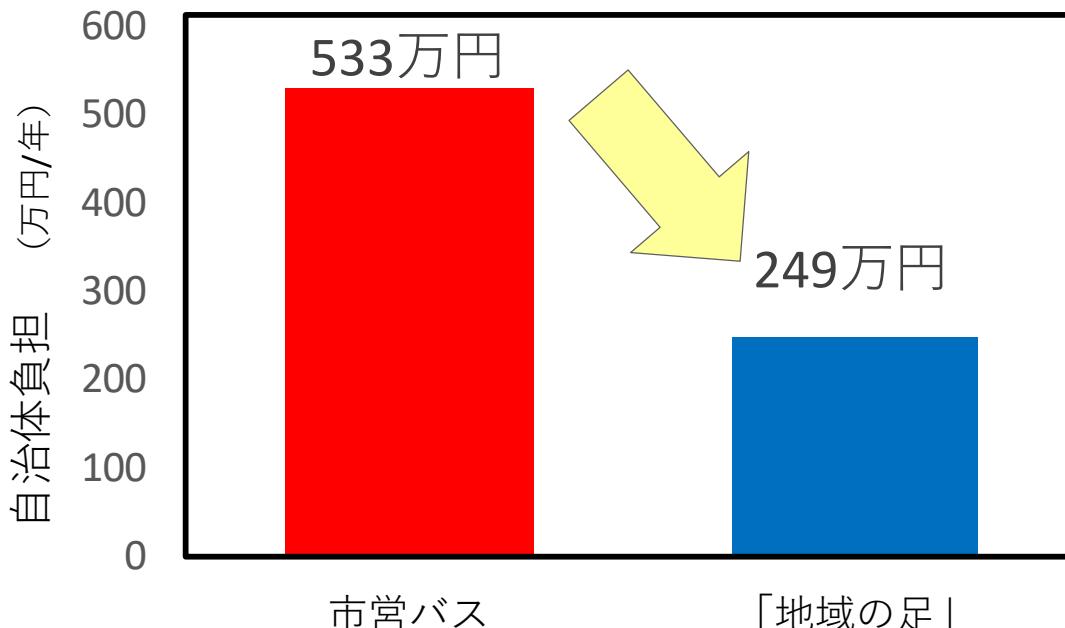
## 特長/メリット (1) 自治体予算を抑える仕組み

- ボランティアドライバーが運転するため、**低コストでの運行が可能**

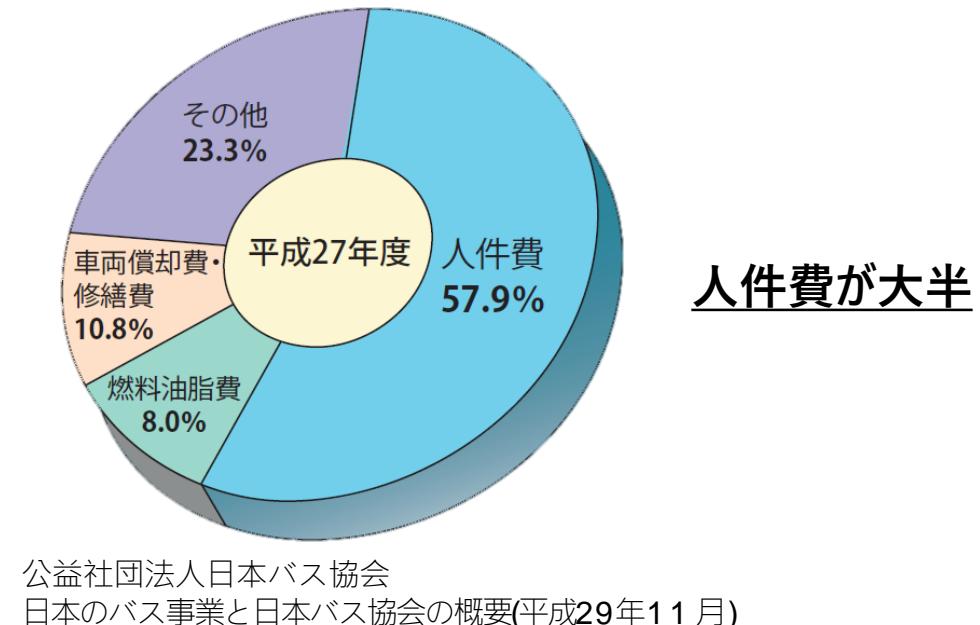
### 【経費削減】

- 運行経費を削減することで、**自治体負担が約半減**（秋田県横手市狙半内）  
⇒ 地域交通の維持・存続に貢献

参考①：狙半内における維持経費(TMC試算)



参考②：乗合バス事業の原価構成(平成27年度)



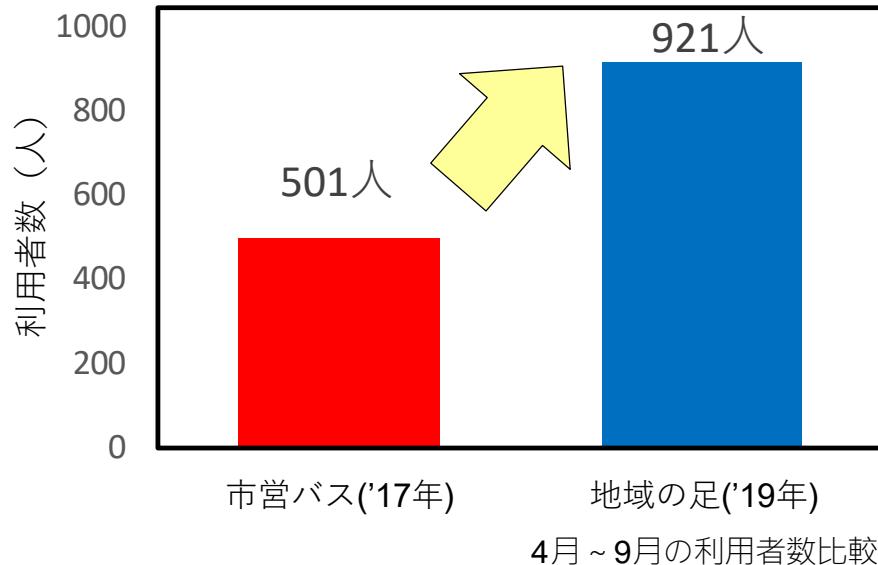
## 特長/メリット (2) 利用者の利便性の高さ

- ・ウェルジョインを活用することで、**自宅前から乗降が可能（ドア to ドア）**

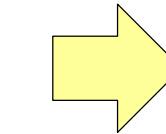
### 【利便性向上】

- ・今までバス停まで歩いて行けなかった方の利用が増加  
⇒外出促進に寄与 **（利用者数が約2倍に増加）**

参考①：狙半内における利用者数の変化



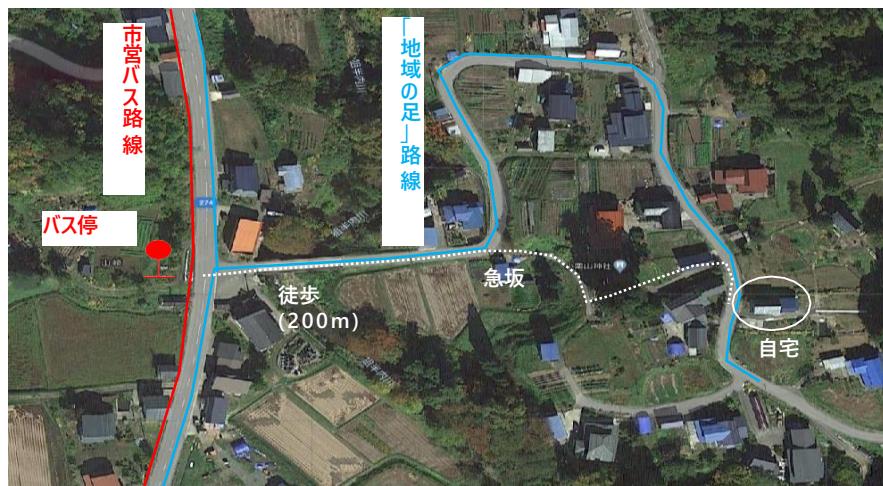
市営バス



「地域の足」



バス停から自宅まで200m



## 特長/メリット (3) 地域力Upにつながる

### ① 住民同士の助け合い交通により共助が根付く <ドライバーの声>



#### 「生活にメリハリ」

⇒日々の早起きと運動不足の解消につながった

#### ・「ありがとう」の感謝の言葉

⇒「生きがい」や「やりがい」につながった

### ② 地域の見守り活動につながる



### <利用者の家族の声>

#### ・地元ならではの移動支援サービスへの安心感

⇒家庭状況を理解しているので任せられる

#### 「異常への気づき」

⇒予約状況や集落巡回の様子から確認できる

### ③ 健康寿命の延伸につながる



### <利用者の声>

#### ・“お出かけするうれしさ”

⇒友だちやドライバーとの会話ができるので、毎日の外出が楽しみ

#### ・“住み続けられる町”

⇒日常生活に困らない（通院や買い物）ので、安心して暮らせる

## 特長/メリット (4) 運営主体が取組むうれしさ

- ・地域のお困りごとに向き合うことで、**移動課題の解決**に貢献（地域貢献）

短期

- ◆ 地域との関係構築

自治体や地域住民、地元企業等との接点が増加

- ◆ 企業認知度、イメージUP

自治体を通して広く活動が周知され、認知度、イメージUP

中長期

- ◆ 本業還元

長期的な関係構築を通して、公用車など本業への拡がりも

- ◆ SDGs対応

「住み続けられるまちづくり」への貢献



# 導入スキーム

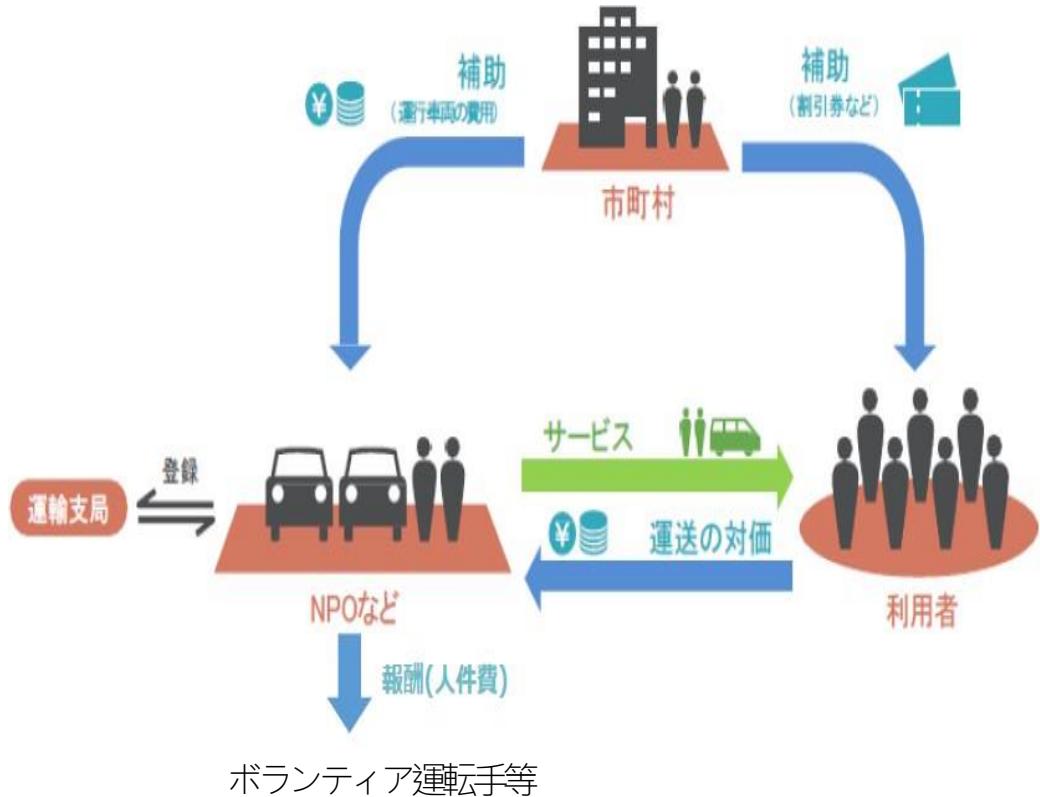
- ・自治体やNPO、共助体が主体の2種類あり
- ・TMCはプロ運転手ではなく、ボランティア運転手の活用を推奨(地域に根差したサービスとする為)

## 自治体主体



(運行管理や運転業務を受託 ※車両は市町村が保有)

## NPO・共助体主体



# スキームに関する基本事項

|      |   |
|------|---|
| 利用運賃 | <ul style="list-style-type: none"><li>利用者から受け取る運送対価には一定の制限あり</li><li>当該地域や近隣の<b>バス・タクシー事業の運賃や料金の1/2を目安</b></li><li>対価の基準は、旅客の運送に要する燃料費その他の費用を勘案して、<b>実費の範囲内であること</b></li><li>対価の設定にあたり、<b>公共交通会議等での合意が必要</b></li></ul>  |
| 運行主体 | <ul style="list-style-type: none"><li><b>自治体の他、以下団体が運行主体になることが可能</b></li></ul> <p>NPO法人/一般社団法人又は、一般財団法人/認可地縁団体（※1）<br/>農業協同組合/消費生活協同組合（生協）/医療法人/社会福祉法人/商工会議所<br/>権利能力なき社団（※2）</p> <p>※1 地方自治法等に定められた要件を満たし、一定の手続きを経て法人格を得た自治区、自治会等の地縁による団体<br/>※2 社団としての実質を備えてながら法令上の要件を満たさないために法人としての登記ができないか、これを行っていないために法人格を有しない社団認可地縁団体となっていない自治会や青年団、マンションの管理組合、サークル、学会等</p> |
| 運転者  | <ul style="list-style-type: none"><li>プロドライバー（二種免許取得者）</li><li>ボランティアドライバー（<b>一種免許取得者かつ国土交通大臣が認定する講習を修了していること、又はこれに準ずるものとして国土交通大臣が認める要件を備えていること</b>）</li></ul> <p><b>※TMCはこちらを推奨</b></p>  |

# デマンド交通の運行形態

- ・運行方式、運行ダイヤ、発着地等の条件の組合せ
- ・導入地域のニーズを踏まえて、関係者で協議のもと決定

## 運行方式

定路線型

自由経路型

## 運行ダイヤ

定時ダイヤ型

非定時ダイヤ型

## 発着地

固定型(バス停)

非固定(ドアtoドア)

# トヨタ自動車が推奨するデマンド交通の運行形態

- ・地域特性に応じた運行形態を選択することが大切
- ・過疎地域を運行する「地域の足」に関しては利便性と持続性から  
**「定路定時線型にドアtoドアを組み合わせたハーフデマンド」を推奨**

配車自由度高

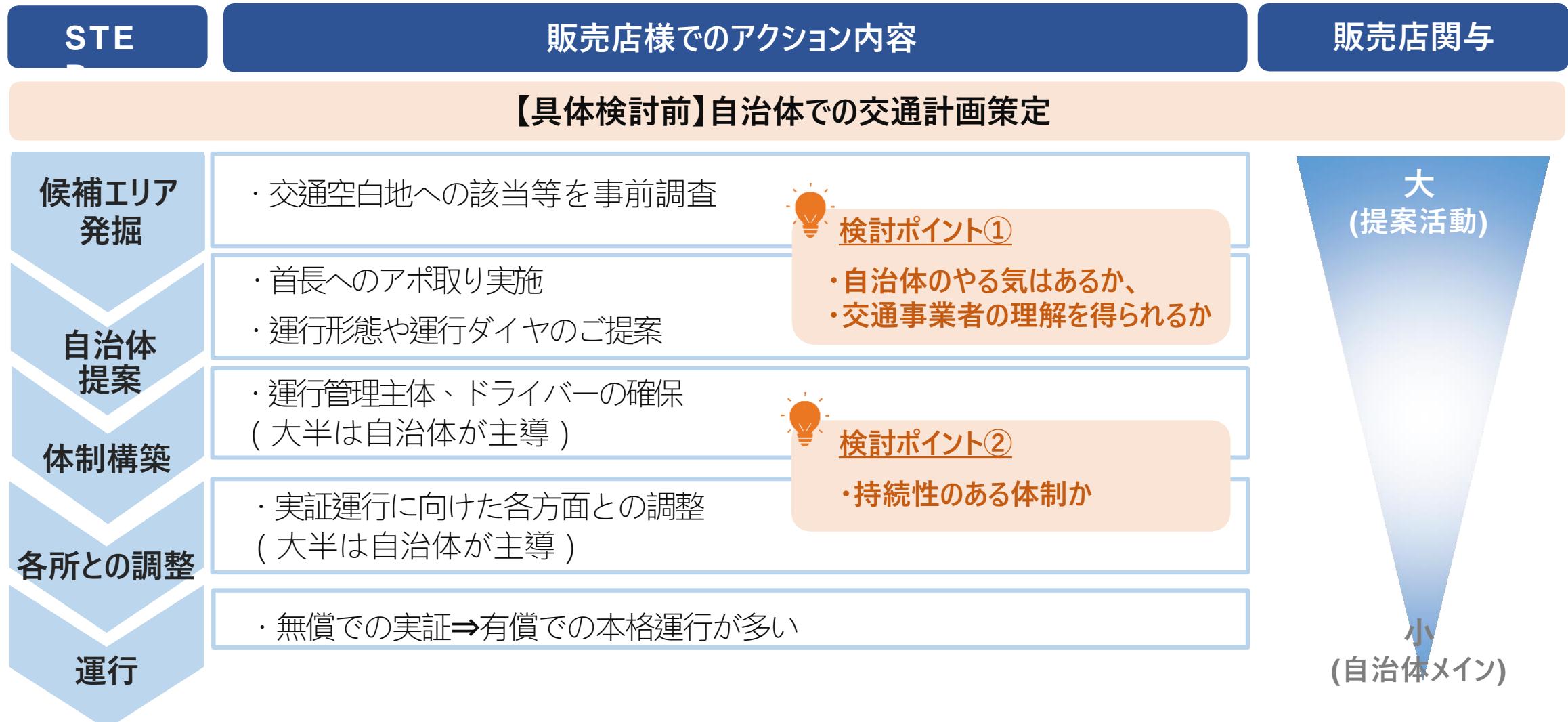


配車自由度低

| 運行形態                                       | 内容                                     | ドアtoドア<br>(利便性)          | 運行効率<br>(効率性)                | オペレータ負荷<br>(持続性)          |
|--|--|--------------------------|------------------------------|---------------------------|
| <b>フルデマンド</b><br>(自由経路×非定時ダイヤ<br>×発着非固定)   | ・エリア内で予約のあった場所を巡回                      | ○                        | ○<br>(同時間、同方向の利用者が多い場合)      | ✗<br>(配車自由度高く、調整が比較的困難)   |
| <b>ハーフデマンド①</b><br>(自由経路×非定時ダイヤ<br>×発着非固定) | ・予約に応じ所定のバス停等間を最短経路で結ぶ方式 (チョイソコ、MONET) | ○                        | ○<br>(同時間、同方向の利用者が多い場合)      | △                         |
| <b>ハーフデマンド②</b><br>(定路線×定時ダイヤ<br>×発着非固定)   | ・通常は定路線を運行するが、予約に応じて他のバス停、利用者宅まで迂回     | ○                        | △<br>(利用なくても定路線ルートは走行する必要あり) | ○<br>(迂回路はバス停近隣の為、調整負荷低い) |
| <b>定時定路線</b><br>(定路線×定時ダイヤ<br>×発着固定)       | ・路線バス同様、所定のバス停間輸送                      | △<br>(停留所から離れた空白地はカバー困難) | △<br>(利用なくても定路線ルートは走行する必要あり) | ○                         |

※ハーフデマンドをセミデマンドと呼ぶ場合もあります

## ・運営主体の関与は検討初期の提案活動が中心



# 販売店事例①（トヨタカローラ南岩手様）

## トヨタカローラ南岩手

代表取締役社長 高橋俊雄様（左）  
地域貢献推進室 安藤則彦様（右）

地域に愛され、地域に根差した販売店であるトヨタカローラ南岩手（以下:C南岩手）の高橋社長と安藤課長に地域への貢献に対する想いやノアウェルジョインを活用した「地域の足」普及への想いをインタビューした



### -----地域の足導入に関わるきっかけは？

弊社の**創業50周年**にあたる2016年に、トヨタ自動車からご説明を受けた際に、岩手県にもニーズがあると感じ、**企業の地域連携活動**の一環として取り組みを始めました。個人的には、東日本大震災以降、「**地域に貢献したい**」という想いが強くなりました。そんな中、**亡祖父が運転しているのを危ないと感じ、「高齢者の移動の課題**が身近になったことを記憶しています。トヨタ自動車CVカンパニーの中川主査と組半内と一緒に訪問させていただき、岩手でもやるべきだと確信しました。

### -----販社として地域の足に取り組む大義は？

販売店の**OBがボランティアドライバーとして活躍出来るのであれば、財産を活かせる**と考えました。また**販売店として地域の方に支えられてきたので、何か恩返しがしたい**と思っていました。

クルマを手放した後も楽しい思い出を持ち続けてもらうようにするのは販売店の使命であり、**販売店の発展は、地域の発展と共に**あると思っています。

### -----取り組んで会社として良かったことなんですか？

弊社のOBが自発的にボランティアドライバーに応募してくれました。元気にやっているのを見ると理想の将来像の様に思います。元気な高齢者は若い人への良いメッセージになりますし、元気なOBが地域で活躍しているのは現社員の励みになります。

私自身、地域の足活動を通じて、お客様との接点を再認識することができ、勇気を頂いています。

また、採用活動でもこのような地域貢献活動をしている会社を魅力的と感じもらっています。今の若い人はSDGsなどの観点にとても敏感です。

また、地域の足をきっかけに自治体と良い関係が出来、困り事を多く相談されるようになり、他の活動にもつながった事例もあります。

# 販売店事例①（トヨタカローラ南岩手様）

## -----取組んで苦労した点は？

自治体によっては交通事業者との関係や、既に計画を持っていて導入に結び付かないケースもありました。

将来の継続性を考えると、自治体のニーズに沿った提案が必要ですし、地域のキーパーソンが不在の場合は、多くの苦労がありました。

いつ花開くか分かりませんが、根気強く続けていくことが必要と感じています。

## -----導入活動の中で嬉しかった事は？

やはり、地域の困り事に、地域の方や自治体の方と取り組めることがうれしいです。自分のやりがいにもつながっています。

一緒に活動いたしている社会福祉協議会の職員さん（2名）から、マイカーのご購入について、弊社をご指名いたいたい時は、本当に嬉しかったです。

## -----現在の販社を取り巻く状況との関係性は？

地域の足単独でビジネスとしてやっていくのは難しいと思いますが、**地域の足を通じたファン作り**をすることで、いずれは本業につながると期待しています。地道な活動ですが、絶対必要な取り組みだと思っています。

**企業広告としてTVやチラシは有効でなく、地域に沿った課題に寄り添う姿勢が効果的だと感じています。**



## -----色々な自治体に提案してどう感じていますか？

トヨタが全国的に活動推進しているため、**他地域の事例やノウハウを持っている事に安心感を感じもらっています。**

一方で、今時点では断られてしまった自治体も、窓口は開けたと感じています。必要になった時に声をかけてもらえるよう、地道に活動するのは車のセールスと同じです。

岩手日日新聞  
2020.9.12

# 販売店事例①（トヨタカローラ南岩手様）

奥州市 総務企画部 製作企画課  
公共交通対策室副主幹 及川様（左）  
同主査 菊池様（右）

## -----C南岩手からの提案をどう感じた？

奥州市は、沢伝いに集落が存在する中山間部の過疎地が多く、**稻瀬地区の乗合いバス撤退が決定**し、「奥州市第3次バス交通計画」を検討中のタイミングでした。導入見積り（1年目：無償貸与、2年目以降：リース）も素早く出して頂き、すぐに事業に組み込むことが出来ました。

奥州市としては、今回の事業をモデルケースに、**将来に渡って、地域/自治体/販売店がWin – Winの関係を構築できるように**していきたいと思っています。

## -----稻瀬ふれあい号導入で嬉しかったことは？

利用者から「**これがないと生活できなかった**」と言っていただいた事です。

また、副次的な効果ですが、**地区センター（地域の交流の場）に住民が集まるきっかけになり始めています。**

（奥州市では、地区センターを拠点に、地域活性化につながる継続的なイベント等の取り組みをしていくことを方針としている）

## -----C南岩手にさらに期待することは？

奥州市では、C南岩手と一緒に活動している「稻瀬ふれあい号」が話題となっています。

今後も、他の地域での活動にも、ご協力いただきたいと考えています。



## -----稻瀬ふれあい号導入で苦労したことは？

乗合いバスの撤退から「稻瀬ふれあい号」の導入まで、短期間しかなかったことです（6ヶ月）。

運輸支局や地元運営団体との調整、ボランティアドライバーの確保など、多くの苦労がありました。

**市の担当者だけでなく地区振興会の前向きな対応が困難を乗り越える力となりました。**

## -----地域の住民に方々に変化はありましたか？

地域の皆さんのがんばりになり、「自分たちの足」だから、もっと使いやすくなる様に改善していく動きが出てきました。（地区センターにいつの間にかベンチや暖房が置かれた）また、**身近な課題を自分達で良くできるかもしれない、と積極的な会話が生まれるようになりました。**

行政の取り組みは、結果がすぐ見えにくいことが多いですが、「稻瀬ふれあい号」の取り組みは、住民のプラスになっているのがすぐ見える分かり易い事例だと思います。

## -----今後の課題は？

**事業の継続性と後継者の育成が課題**です。

人口減少で担い手が減ってきており、高齢者まで働く世の中になってきています。

トヨタも検討を進めていると思いますが、ITの活用、自動運転が実用化してくると課題解決につながるのではないかと期待しています。

## -----トヨタ販売店へのメッセージは

公共交通が衰退した理由は、マイカーが普及したのが最大の原因だと見なしているわけではありません。例えば、携帯の普及で、固定電話が衰退したが、明らかに便利になっています。技術の進歩は人の生活を向上させているのは事実である一方、手の届かない部分に居る人が出てくるので、**そこをどう手当てしていくか、行政と共に解決するための地域貢献活動に期待しています。**

# 販売店事例①（トヨタカローラ南岩手様）

## 稻瀬ふれあい号

ボランティアドライバー 菊池勉さん

### ----ご出身は？現役の頃はどんなお仕事？

稻瀬地区出身、「どこにも出たことないべ。」（といった岩手の温かい言葉混じりで会話が進んだ）

**C南岩手で40年間勤務（整備4年、営業36年）**  
させてもらい、退職してからは百姓しながら家のことをして過ごしていました。

### —どういうきっかけで応募？

「稻瀬の足を守る会」の副会長から声をかけられたこともありましたが、集落の人から「オレもやるならお前もやるべ」と誘われました。何よりC南岩手が協力していると聞いて、とても縁を感じています。



亡くなった母親は免許なかったのでバスを使っていました。  
「免許がないお年寄りは大変、助けてあげないと。」今まで地域にお世話になったので、ボランティアドライバーなら自分でも出来るのではないかと思いました。

### —やってみてどう感じています？

「稻瀬ふれあい号」は3日/週の運行、ボランティアドライバー5人体制（内2人は農家で、繁忙期は3人体制）なので、時間的にもそんなに負担なくできています。また、有償ボランティアということもあり、お小遣い程度にもなっています。

### —やってみて嬉しかった事は？

月1回でも利用をしてくれると、「まだ元気でてくれる」と嬉しくなります。

先日、92歳のおばあちゃんにご利用いただいた時に、孫の話いや、さもない話（大した内容でない話）をしてとても楽しかったです。高齢者を支えるのは運転の励みになります。

### ----今後の課題は？

ドアドアではないため、バス停は利用の多い人の自宅近くに設置したり、道路を横断しないでるように変更するなど、日々改善しています。

冬場の運営（雪が多いため、除雪時間を早めるなど）改善が必要だと感じています。

## 稻瀬ふれあい号

利用者 及川裕子さん

### —利用してどうですか？

私の家は、「稻瀬ふれあい号」がなかったら、タクシーを使うしかないので、本当に助かっています。（周りの家は、まだ若いご家族がいて、送迎してもらっている様子）

### —どの位の頻度で使われますか？

私は、リンゴ農家なので、秋は忙しく、今年の冬は大雪であまり出掛けられなかったですが、**最近は月に2～3回ほど使っています。**

主な用途は、買物や農協、銀行に行くために使っています。また、薬をもらうために、通院にも利用しています。

### —ドライバーさんが地域の人なのは？

道に不慣れなドライバーさんに、道も教えてあげる（雪で隠れた道端や安全な道とか）こともあります。

利用の際に、「〇〇さんの家の近く」とドライバーさんに伝えるだけで、すぐに理解してくれます。とても便利です。



### —車内では他の乗客と会話とかされますか？

今はコロナなので、お話することはありませんが、知らない人と同乗するケースもありました。何回か使うと同じ人とまたお会いしますので、会話する機会も増えてきます。特にお年寄りは、知らない同士でも気軽に話しかけてきますので、とても楽しいです。

## 販売店事例②（鹿児島トヨタ自動車様）

### 鹿児島トヨタ

代表取締役社長

市坪 文夫 様(左)



専務取締役

未来事業研究企画室長

諏訪 純 様(中央)



未来事業研究企画室 課長

當山 義英 様 (右)



— 「地域の足」の普及活動に早い段階から、協力をいただいている鹿児島トヨタ自動車の市坪社長、諏訪専務、當山課長に地域への貢献に対する想いや、ノアウェルジョインを使った「地域の足」への想いをインタビューした。



#### ——「地域の足」導入に関わるきっかけは？

2018年1月にトヨタ自動車がモビリティカンパニーへモデルチェンジしていくと発表があり、我々販売店にとっての地域貢献とモビリティの取組の解を求めて、鹿児島県の43すべての市町村の首長と面談し話を聞いてまわりました。その中で **「どの地域でも過疎化や高齢化・高齢者の移動という共通の問題があり、鹿児島トヨタとして「中山間地域のモビリティ確保」に何かお役に立てることは無いか考えていたところ、トヨタ自動車CVカンパニーの中川主査を中心に取り組まれている「地域の足」の活動を知り、各自治体へ提案していくこういう流れになりました。**

#### ——販社として「地域の足」に取り組む大義は？

**地域が生き残らなければ将来仕事をさせて頂くフィールドがなくなってしまうという思いで活動しています。**

**産業振興も併せて地域を活性化すること、地域に富を創造して幸せを量産することに地場企業として貢献していきたいと考えています。**

現状は社会貢献の意味合いが強いが、先々は『コスト<収益』を実現できるように活動を進めていきたいと考えています。

## 販売店事例②（鹿児島トヨタ自動車様）

### ——取り組んで会社として良かったことなんですか？

自治体に訪問する中で鹿児島トヨタが何か面白いことをやってると興味を持っていただき他の部署から『地域でこんなことやってる法人がいるので何か一緒に取り組めることは無いですか？』と声を掛けられ他業種との協業につながりました。

自治体の職員が車を購入してくださったり、職員から車購入の紹介をして貰いたり、車両販売への影響もありました。

また、採用活動でもこのような地域貢献活動をしている会社を魅力的と感じてもらっています。今の若い人は、SDGsなどそういう観点に敏感です。



写真：「地域の足」普及に尽力いただいている  
當山課長は、元本部・技術トレーナー



写真：南さつま市提案時(副市長、交通担当者様へ説明)の様子



写真：T鹿児島がサポートした藤川おでかけ号の出発式の様子。  
写真は諏訪専務。

# 販売店事例③（ネットトヨタ瀬戸内様）

## ネットトヨタ瀬戸内

モビリティ事業部 次長 大石 一浩 様

--- 地域交通の課題に早くから注目され、愛媛県ほぼ全ての自治体様に「地域の足」やチョイソコを適材適所に提案されている大石次長に、「地域の足」普及活動に対する想いをインタビューした。



### -----地域の足導入に関わるきっかけは？

過疎地や中山間地の交通弱者に対する提案で頭を悩ませていた時、トヨタ自動車CVカンパニートータルソリューション事業室と出会い、地域の足を学ぶ機会を得たことで「**地域の足**」を過疎地・中山間地の交通弱者用コンテンツに位置付けました。

### -----販社として地域の足に取り組む大義は？

「モビリティカンパニー」と言うからには、自家用車の保有に関わらず、**地域の全ての人に移動サービスを提供することができる企業であるべきなのではないか**と考えています。

### -----取組んで苦労した点は？

特に小さな市町の場合、公共交通の担当者が0.6人といったことが多く、その良さを認識していたいたとしても**マンパワーの問題で進まないことがあります**。弊社ではこれを解決するために、「**市民参画型**」、つまり住民によるボランティアを力に替える提案をしています。

### -----現在の販社を取り巻く状況との関係性は？

未来を見据え今打てる手として、弊社は公共交通の分野に進出しているわけですが、**そんな弊社にとって「地域の足」はコンテンツの柱の一つ**となっています。また、この活動を通じて自治体そのものや住民との関りを持つことによって、**本分である販売店業務にも還元されるもの**と信じています。

### -----チョイソコと「地域の足」の違いは？

『チョイソコ=市街地用』『地域の足=過疎・中山間地用』という認識ですので、**そもそもフィールド自体が違います**。

地域の足のメリットを挙げるとすると、「**プロドライバー不足への手当になる**」「**貨客混載とのコンボを設計しやすい**」「**自治体の財政負担を大きく圧縮することができる**」といったところでしょうか。この3点は、特にチョイソコとの違いであると認識しています。

## 4. チョイソコについて

# 健康増進のための乗り合い送迎サービス



## 取り組みのご紹介

プロモーションムービー



**AISIN**  
株式会社 アイシン



# アイシンのご紹介

トヨタグループ(17社)  
**TOYOTA**

株式会社豊田自動織機  
トヨタ自動車株式会社  
愛知製鋼株式会社  
株式会社ジェイテクト  
トヨタ車体株式会社  
豊田通商株式会社  
**株式会社アイシン**  
株式会社デンソー  
トヨタ紡織株式会社  
トヨタ不動産株式会社  
株式会社豊田中央研究所  
トヨタ自動車東日本株式会社  
豊田合成株式会社  
日野自動車株式会社  
ダイハツ工業株式会社  
トヨタホーム株式会社  
トヨタ自動車九州株式会社

社名：株式会社アイシン  
設立：1965年8月31日  
本社：愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地  
資本金・売上：資本金450億円／売上4兆9,095億円（'25年3月期）  
連結子会社：194社（国内72社 海外122社）  
従業員：連結約115,140人／単独35,099人  
事業内容：自動車部品、エナジーソリューション関連機器の製造販売



新規事業創出の  
取り組みとして  
2018年にチョイソコを創業



# チョイソコとは？

- ・地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献する  
デマンド型交通 (※) ※予約に応じて乗降場所や経路を変更可能な交通システム
- ・従来のデマンド型交通と異なり、民間企業が事業主体となり、  
エリアスポンサーによる協賛を得ることで採算性を向上
- ・単なる運行のシステム提供に留まらず、  
高齢者の健康増進につながる外出促進の“コト”づくりを推進

シンボルマーク



自治体名入り



車両デザイン



## ～チョイソコの想い～

シンボルマークに表現されている  
「チョイソコ」の各文字は老若男女  
な人を表し、利用者の多様性を表現  
しています。

多様な人が乗り合わせる移動により、  
外出を楽しみ、健康増進につながる…  
そのような世の中を実現していきたい  
と考えます。

# チョイソコのようなデマンド型交通が広まっている背景



## “買い物弱者”とも呼ばれる 交通難民の増加

### ＜主な要因＞

- ・商業集積場所の変動
- ・既存公共交通の衰退
- ・高齢者運転免許自主返納の促進
  - ・75歳以上運転者対象の認知機能検査開始 (2017年3月～)

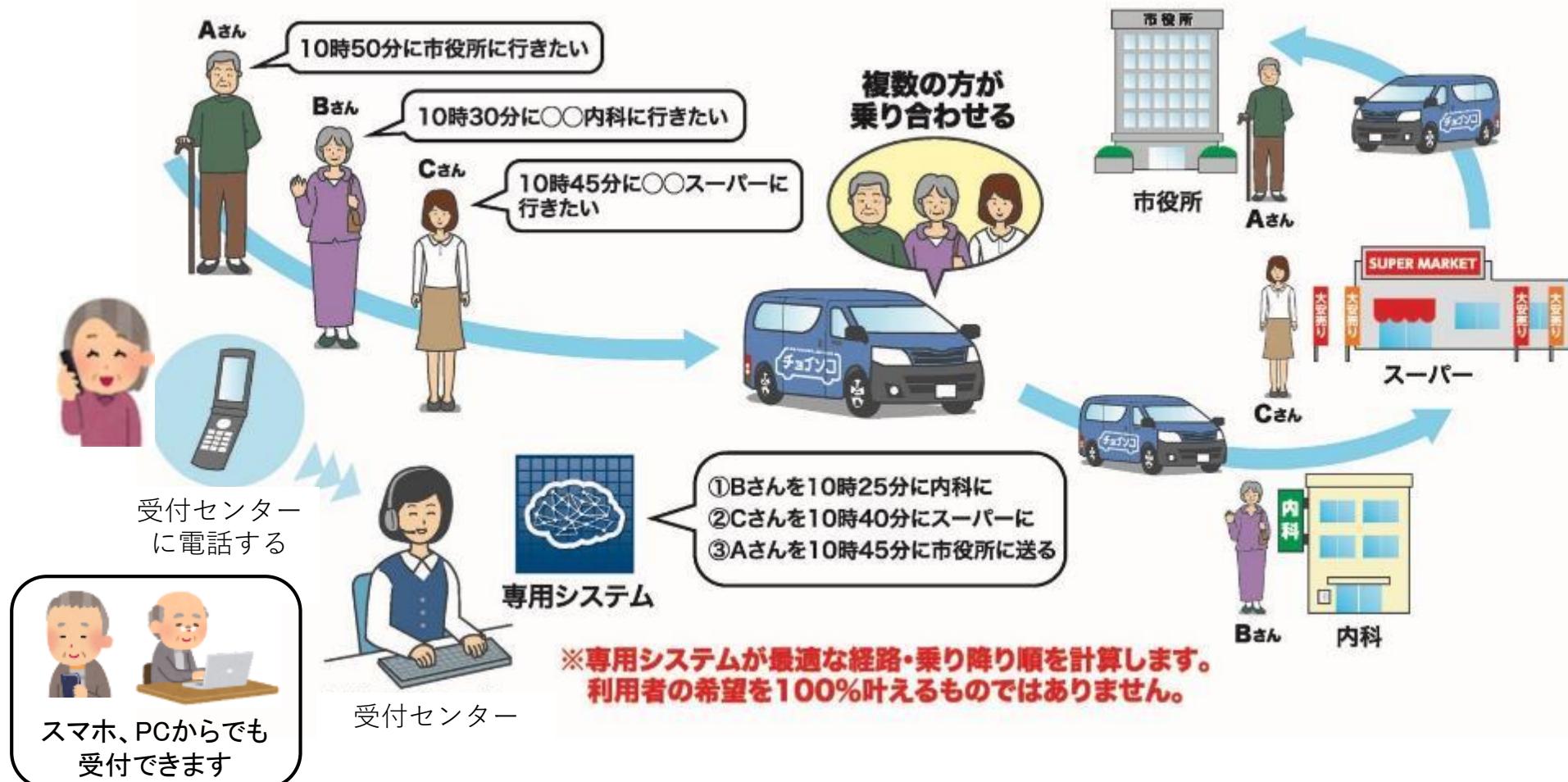
昨今の痛ましい高齢者事故報道増加  
により運転免許返納が加速化

過疎地域だけではなく  
都市部でも課題に

新しい交通のしくみが必要

## チョイソコの特徴① 高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録された利用者から乗車依頼を受付し、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎でお運びするしくみです。



# チョイソコの特徴① 高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録制で、利用時には事前のお電話が必要です。  
高齢者とのコミュニケーションに優れたオペレーションにより安心運行が実現。

## ①会員登録申込



The image shows a screenshot of the ChoiSoko membership application form. It includes fields for personal information (name, address, phone number), emergency contacts, and a section for 'How to apply' with a contact number (057-00-81194) and website (choisoko@aisin.co.jp).

- 世帯別ではなく個人別
- 最寄りの停留所を記載
- 緊急連絡先を記載
- アンケートに記載

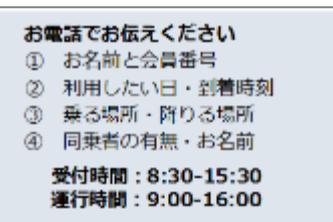


会員証が  
届いたら  
利用可能

## ②会員証



表：会員番号・氏名・最寄停留所



裏：お電話時に伝える内容

## ③利用開始

お乗りになりたい〇〇分前までに電話します。  
(乗車受付期間は任意に設定可能)

帰りの受付を  
することも  
できます

- ①名前と会員番号 ②利用希望日・時刻  
③乗る場所・降りる場所 ④同乗者の有無
- を伝えます。



山田花子、会員番号〇〇です。  
〇〇停留所から鈴木整形外科に  
9月6日の11時頃までに行きたいです。  
同乗者はいません。



オペレーターとやりとりし  
停留所に来ていただく  
時刻が伝えられます。

指定された日時に、  
停留所に向かいます。



車が到着したら乗車し  
運転手に名前と  
行き先を伝え、  
乗車料金を払います。



停留所には看板が貼ってあります

## チョイソコの特徴② エリアスポンサー協賛型のビジネスモデル

チョイソコは地域のタクシー会社と提携し運行します。  
エリアスポンサー（自治体や事業者）からの協賛・広告料により、  
運営費用の一部を支えていただくことで  
これまでよりも採算性高く運営を維持することが可能です。



地域のタクシー会社と 提携し運行することで  
既存公共交通とwin-win の関係を築く

## チョイソコの特徴③ 地域密着型コミュニケーション

自治体様と協力し地域住民向け説明会を開催し、周知・理解を高めます。  
高齢者に“寄り添った”コールセンターで、配車のサポートも可能です。

### ■住民説明会



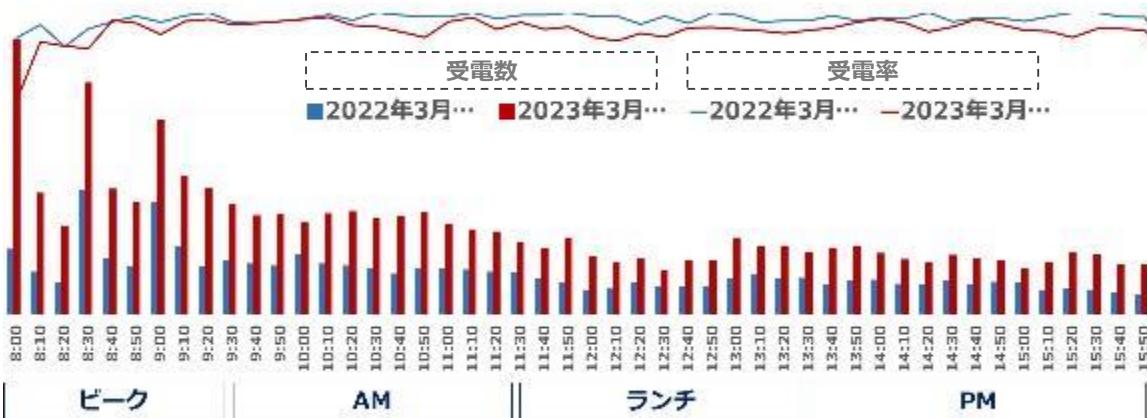
導入時に50回以上の説明会を実施

### ■コールセンター



現在はスクールバスを除くと  
**95%以上が電話予約**

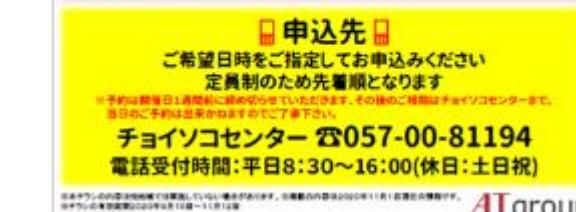
導入自治体でシェアしつつ  
高い受電率を確保



直接、住民様の反応を聞き、満足度向上につながる活動へ

## チョイソコの特徴③ 地域密着型コミュニケーション

会員には毎月「チョイソコ通信」を郵送し、運行に関する更新情報を伝えするとともに、“お出かけしたくなる”様々な情報を発信しています。



エリアスポンサーのチラシも同封可能

# チョイソコの特徴③ 地域密着型コミュニケーション

運行だけにとどまらず、  
“お出かけしたくなる”様々なイベントの仕掛けを  
自治体様やスポンサー様と協業で行っています。

**チョイソコ**  
とよあけ  
お出かけイベント  
(チョイソコ)

豆菓子すくい取り大会  
店舗でドリンク注文されると参加券お渡しいたします

【日時】12月15日(木)  
【時間】14:00～15:30  
※時間内にお越しください。最終受付15:15。  
【会場】コメダ珈琲店 豊明前後店  
豊明市前後町螺貝1378-1 0562-92-6717

多くすくった人に  
賞品付き 豆菓子  
すくい取り大会

参加料: 100円  
※参加券持参の方は無料  
店舗でドリンク注文された方に参加券お渡しいたします  
参加券お渡し期間: 12/1～12/15 (ただし12/15は15:15まで配布)

ミニソフトプレゼント!  
ドリンク注文時に  
会員登録をご表示ください。  
ご来店でも可  
会員登録イメージになります

問合せ: チョイソコセンターへ057-00-81194



**チョイソコ**  
かかみがはら  
(チョイソコ)

防災さんぽ  
&  
歴史ウォーキング  
市文化財課学芸員の解説付き

お友達やご家族と一緒に参加して  
災害について考えてみましょう♪

日 時 : 2022年12月14日(水) 9:00～12:00  
集合場所 : 中山道鶴沼宿町屋館  
新潟県市鶴沼町1丁目1-6-3

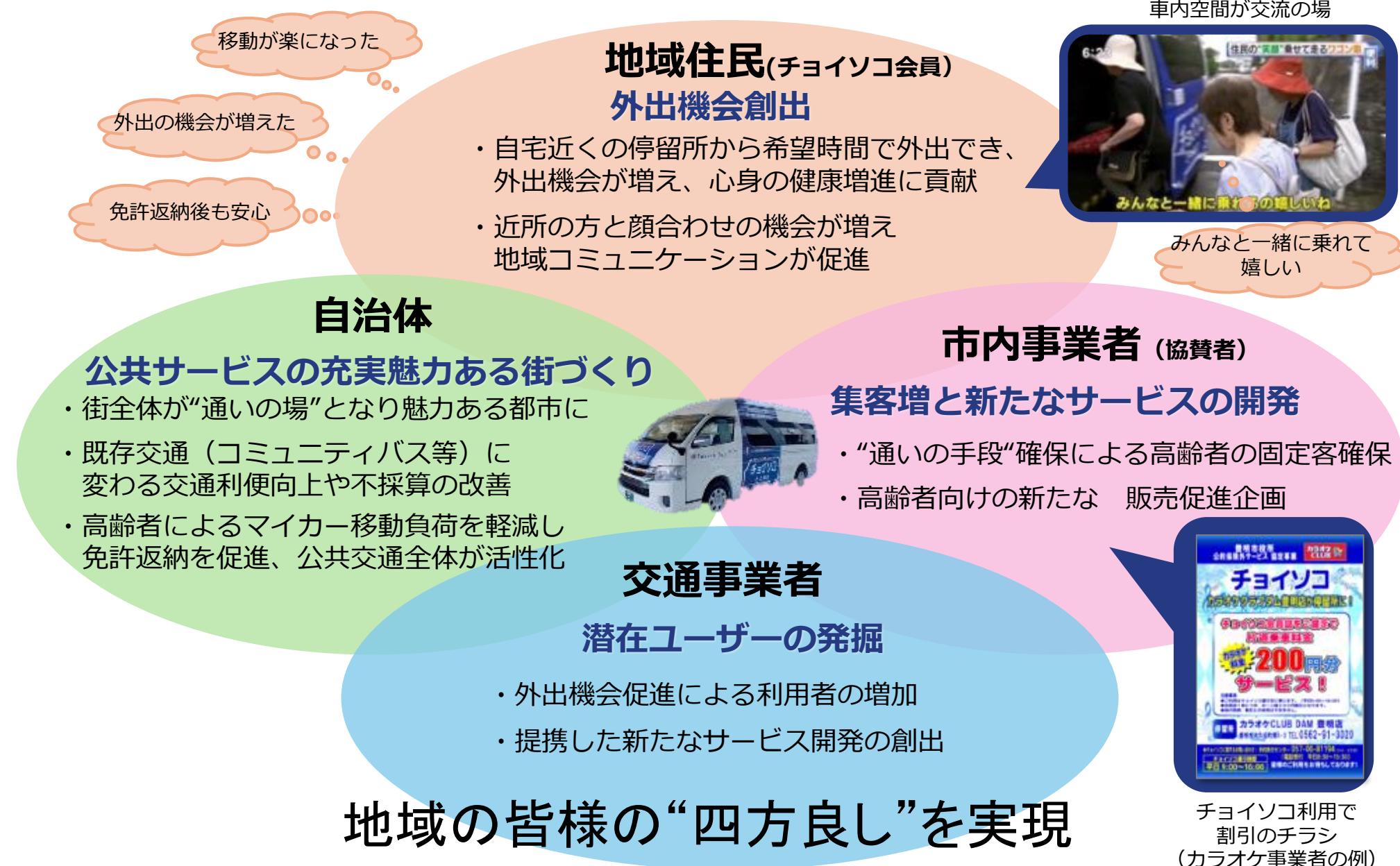
史跡と災害は深い関係があるのを  
知っていますか?

- 地震・風水害のハザードマップで学ぼう! (防災ジャパン)
- 史跡を通り災害時の危険な場所などを知ろう! (市文化財課学芸員、ほけんの窓口)
- 防災クイズで楽しく覚えよう! (ほけんの窓口)

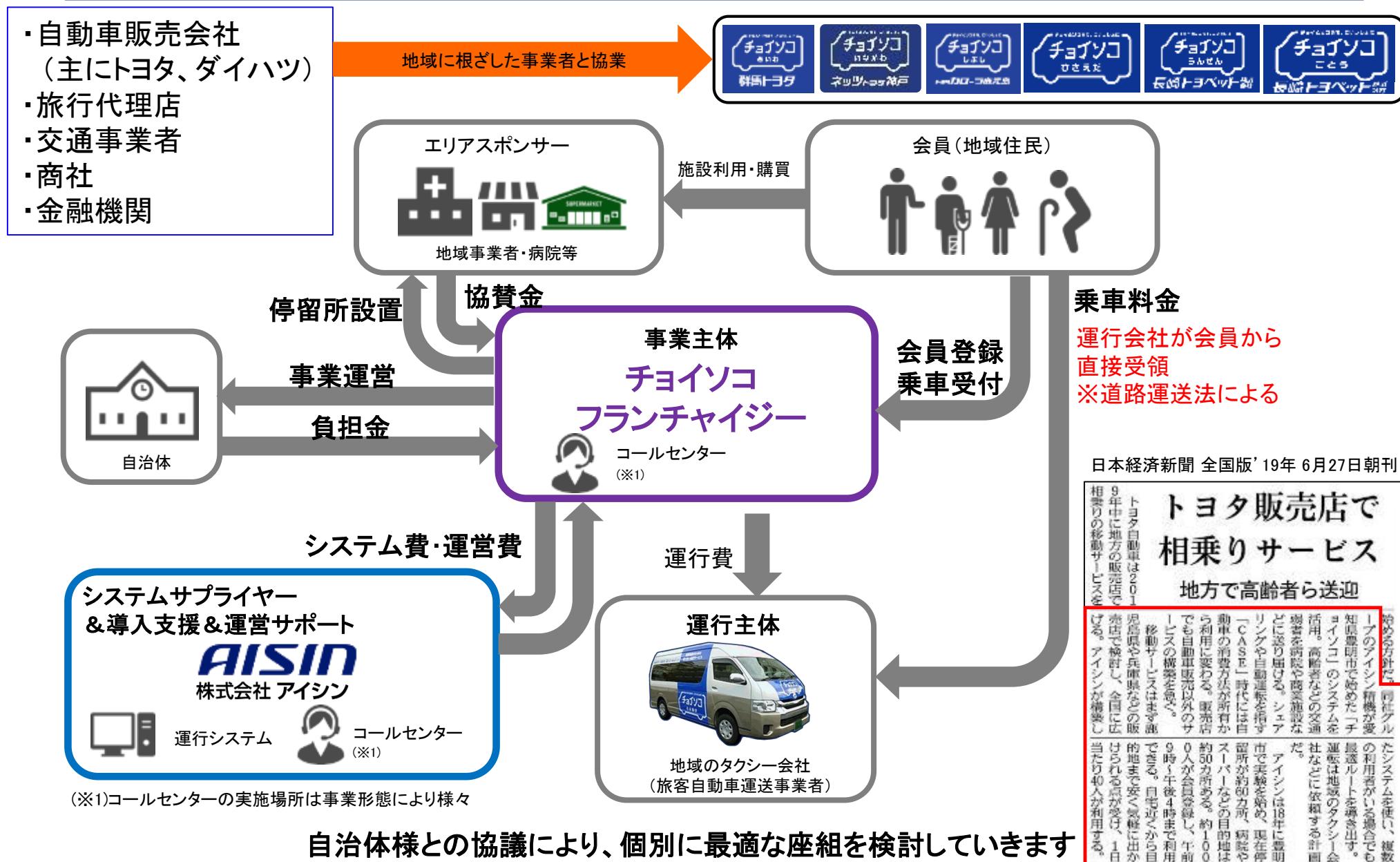
おさんぽルート: ①鶴沼宿町屋館→②衣装堀古墳→③坊の塚古墳→④白蛇のへり

参加費 無料  
定員 15名  
チョイソコ 停留所 394\_鶴沼宿駐車場  
申込締切 2022年12月9日(金)





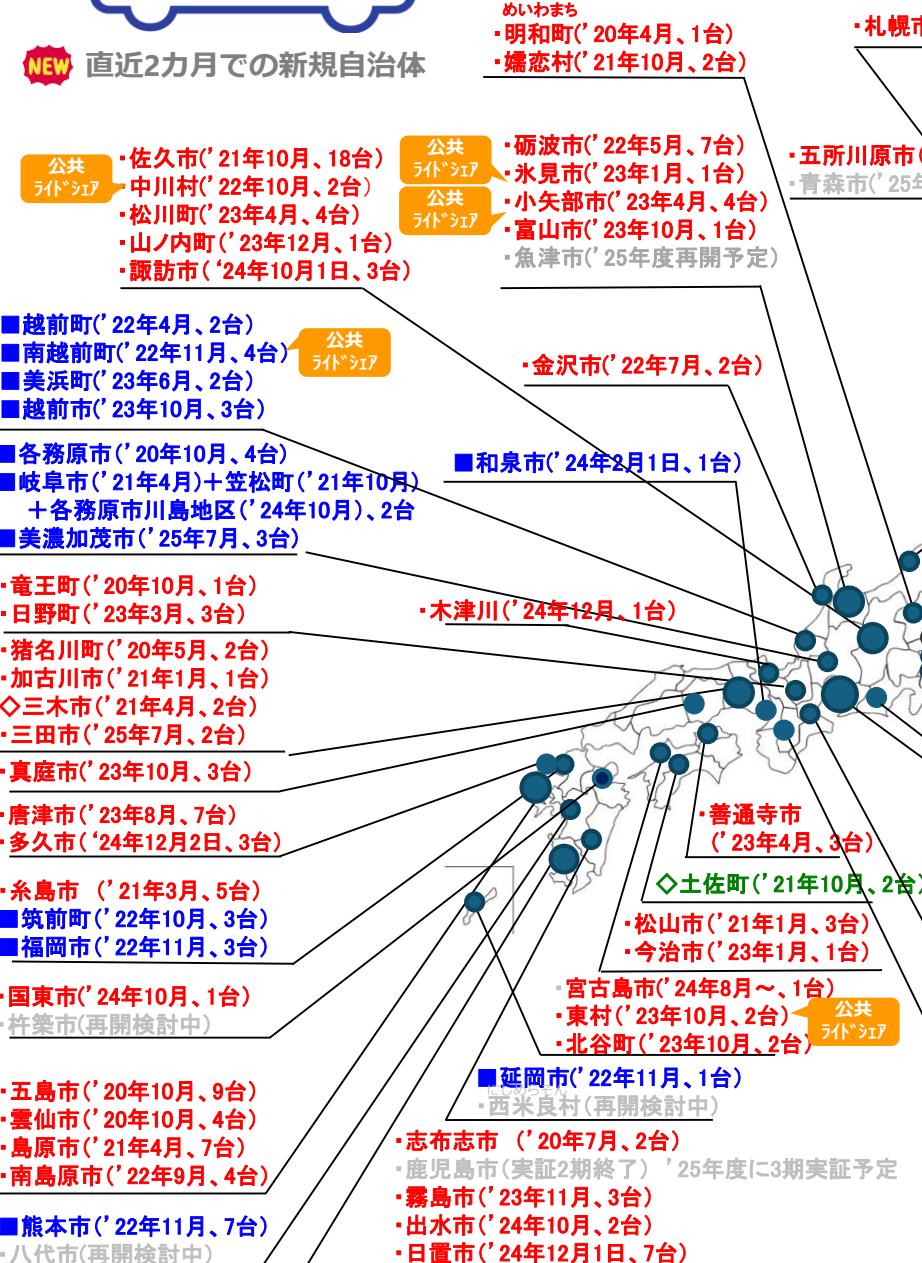
# チョイソコのフランチャイズについて



自治体様との協議により、個別に最適な座組を検討していきます



NEW 直近2カ月での新規自治体



# 全国展開状況 ('25年7月1日 現在)

Now

導入自治体: 80市町村  
車両台数: 200台

公共  
ライドシェア 6カ所

## チョイソコ導入実績推移



### 事業/運営主体

- : 23カ所、アイシン
- ・: 52カ所、現地パートナー(トヨタ販売店、ダイハツ販売店、地元事業者等)
- ◇: 4カ所、システム提供のみ

## 5. カーシェア(トヨタシェア)について

## 1. カーシェアとは

24時間365日、スマートフォン1つで短時間から利用可能

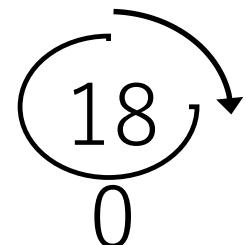
(参考) レントカー



営業時間内のみ  
利用/返却可能※1



有人での貸出



最短3時間～

※1:一部24時間営業

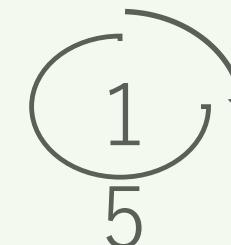
カーシェア



24時間利用可能



スマホで無人貸出



短時間利用可能

## 2. TOYOTA SHARE とは



# TOYOTA SHARE 5つの魅力

## 1 登録無料でお得に短時間から

入会金・月会費<sup>\*1</sup>  
¥0

- ・15分220円(税込)～ご利用可能<sup>\*2</sup>
- ・短時間～長時間まで、用途に合わせて使いやすい料金体系

\*1 月会費は無料キャンペーン中です。

\*2 6時間未満のご利用の場合、15分料金と6時間料金の2種類の料金設定があり、設定は車両によって異なります。

## 2 スマートフォンひとつで予約・利用可能



- ・予約から利用、精算までスマートフォンひとつで完結
- ・車内にはスマートフォン用充電器を搭載

## 3 多彩なラインナップをご用意



- ・コンパクトカーからSUV、ミニバンまでご用意

※車両はSTごとに異なります。

## 4 キレイで清潔な車両



- ・定期的に清掃を実施、清潔・キレイで快適

※一部車両は利用都度清掃しております。車両条件アイコンをご確認ください。

## 5 安全・安心な車両をご用意



- ・バックモニターや、衝突回避支援などの予防安全機能を搭載

※一部非搭載の車両もございます。

## 2. TOYOTA SHARE とは

スマホひとつで会員登録～精算が完結するカーシェアリングサービス

会員登録

検索・予約

開錠

利用・返却

精算

利用体験



事前登録の  
クレカで決済

スマホで開錠



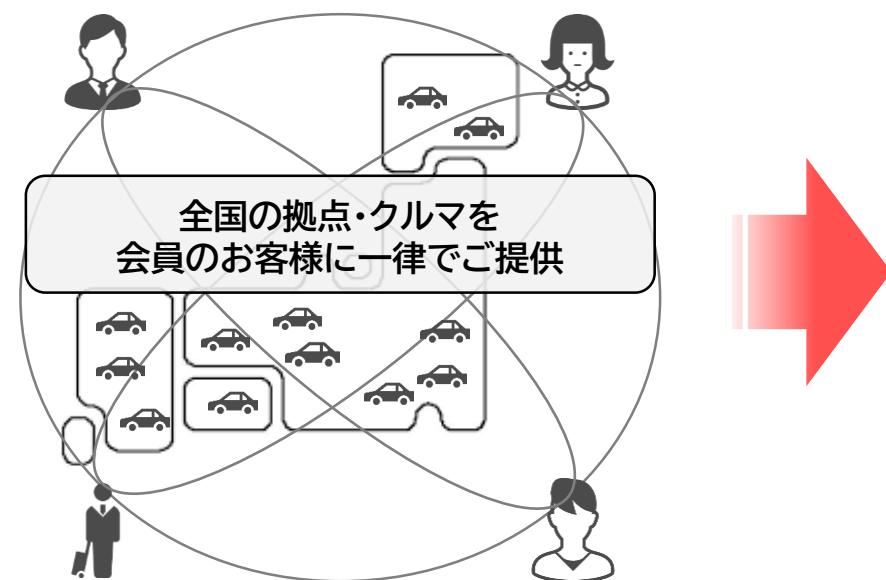
Smart Key Boxを搭載し  
スマホでの鍵開閉・  
エンジンONOFFを実現

支える技術

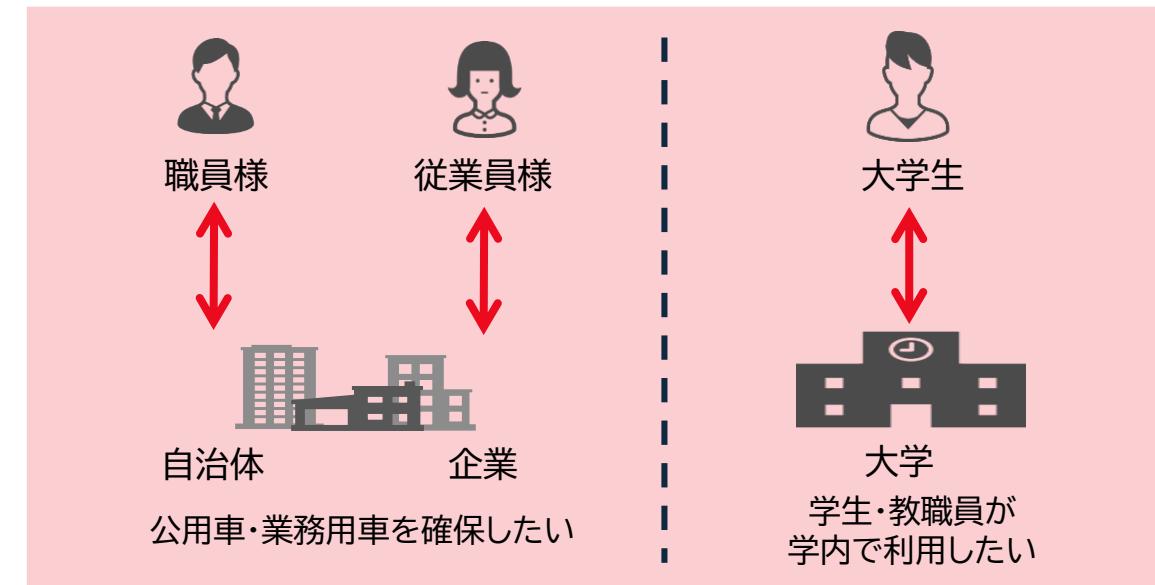
### 3. クローズドカーシェアとは

## カーシェアの利便性はそのままに、場所・利用者を特定したサービス

いつでも誰でもどこでも利用



特定の会員が特定の場所で利用



|        | オープンカーシェア        | クローズドカーシェア                     |
|--------|------------------|--------------------------------|
| お客様    | TOYOTA SHARE会員   | グループコードを付与された特定のTOYOTA SHARE会員 |
| ステーション | 自社店舗内や店舗外        | お客様の敷地内(自治体・企業・大学など)           |
| 料金     | 通常料金(含むキャンペーン料金) | 通常料金に加え、特別料金(割引料金/0円)の設定可能     |

### 3. クローズドカーシェアとは

TOYOTA SHAREの仕組みをベースに、運用パターンやお支払い方法などをご相談させて下さい

#### オープンカーシェア

#### クローズドカーシェア

利用者

全国の一般会員

法人指定の特定会員

システム

オープンカーシェアの仕組みを活用

スマホアプリ



管理システム



SKB



TransLogⅡ



コールセンター



仕組み

デバイス

コールセンター

制度  
(サービス/運用)

全国統一制度に準拠

法人様と個別調整  
(一部、統一制度に準拠)

### 3. クローズドカーシェアとは

会員グループの方々だけが利用出来る様にグループコードを活用

#### ■ グループコードの入力方法



メニュー(≡)をタップ



「グループ」をタップ



「グループを追加する」をタップ



グループコードを入力し、  
このグループを適用する場合は  
「このグループに参加する」に  
チェックを入れ、  
「グループを登録する」をタップ



「OK」をタップ

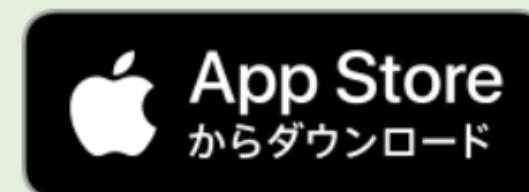
## 5. ご留意事項

会員登録・ご利用には専用のスマートフォンアプリが必要です  
( 入会金0円・月会費は無料です。 )



TOYOTA SHARE

スマートフォンアプリの  
ダウンロードはこちらから



# 1. 事例紹介(釧路公立大学)



|      |  |
|------|--|
| きっかけ | 地元の公立大学という点に着眼し、学生の地域への意識・愛着を高めてもらうため事業者よりカーシェア設置を提案   |
| 概要   | 学生を被験者としたカーシェアの実証実験。ゼミ生15名が主体となり学生の行動範囲や地域認識に与える影響の調査と普及の可能性を探る。学生生活の充実と卒業後も釧路に残ってくれる学生が増えればとの想いが込められている。  |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・学生による新たな運営方法やビジネスアイデアの創出</li><li>・クローズド大学STの収益構造解析</li><li>・新卒社員募集のきっかけ</li><li>・地元における事業者の認知度アップ</li></ul> |

大学公式facebookでも話題



|               |                  |
|---------------|------------------|
| パターン          | 大学生カーシェアリング実証実験  |
| 事業者           | トヨタモビリティ釧路       |
| 設置年月日         | 2022年7月12日       |
| 設置車種          | アクア              |
| 営業時間・形式       | 7:30～22:15・クローズド |
| 稼働率(2022年12月) | 6.9% (設置後5ヶ月)    |

## 2.事例紹介(東北芸術工科大学)



|      |  |
|------|--|
| きっかけ | 地域貢献を考える中で県内大学生へアンケートを実施、「車が無い」「活動が制限される」実態を受け事業者が提案   |
| 概要   | 移動に不便を感じている学生と教職員向けのクローズドカーシェア。大学から1回/月程度学生向け周知メールを送付、教員・学生約2,400人の内22年12月には会員数184名に到達。交通アクセスの少なさ(バスが1本/0.5~2h)に加え学生の車両保有率の低さが稼働向上の要因。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との連携強化</li><li>・芸術デザイン系大学ならではの共同企画の実現</li><li>・地元における事業者の認知度アップ</li></ul>                     |

東北芸術工科大学公式チャンネルでも紹介  
<https://www.youtube.com/watch?v=5zGacGVBF1M>



|               |                |
|---------------|----------------|
| パターン          | 大学生・教職員利便性向上   |
| 事業者           | ネットトヨタ山形       |
| 設置年月日         | 2022年5月20日     |
| 設置車種          | ヴィッツ・ヴォクシー     |
| 営業時間・形式       | 24時間・クローズド     |
| 稼働率(2022年12月) | 10.8% (設置後7ヶ月) |

### 3.事例紹介(東横INN富士山大月駅)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 東横イン殿より近隣販売店とトヨタ自動車に、新たに開業するホテルにカーシェアを検討したいとの提案を受け設置  |
| 概要   | 山梨県内4店舗目の東横INNホテル駐車場に、宿泊客の周辺観光やビジネス利用の足として設置。鉄道乗換地点である大月駅徒歩5分に立地。オリジナル看板の設置やホテルHPでの掲載などTOYOTA SHARE運営に協力的。今後は更なる増車や他店舗への設置も要望されている。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルのTOYOTA SHARE告知協力</li> <li>・今後同系列の他のホテルへの設置可能性アップ</li> <li>・地元における事業者の認知度アップ</li> </ul>  |

#### 東横INN HPでも紹介

ホテルからのお知らせ

トヨタのカーシェアサービス「TOYOTA SHARE」のカーステーションにて、当店の駐車場の1枚が登録されています。是非ご利用ください。

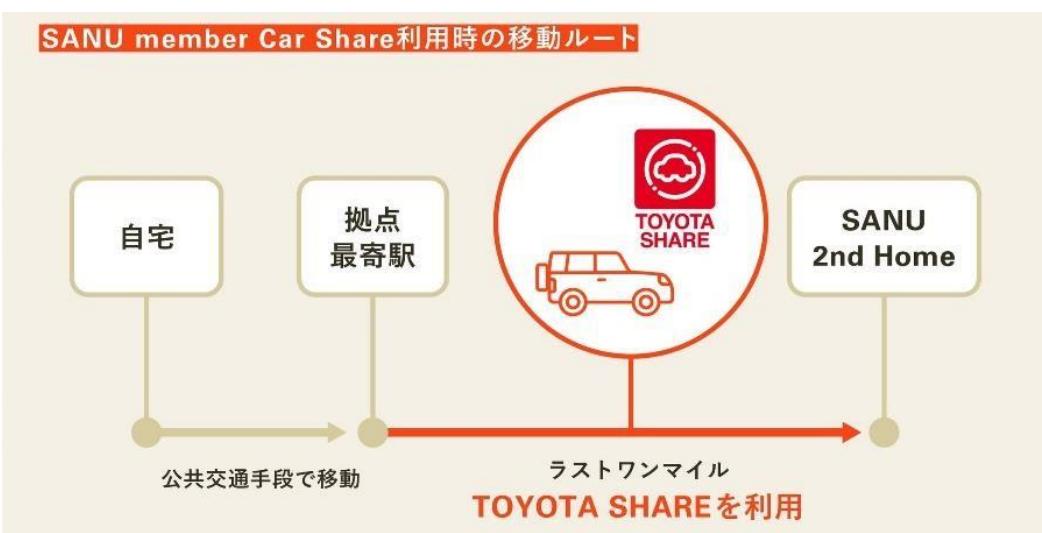
リードの詳細、ご利用方法は、TOYOTA SHAREのページをご覧ください。

|               |                |
|---------------|----------------|
| パターン          | 大手ホテルチェーン観光客移動 |
| 事業者           | トヨタカローラ山梨      |
| 設置年月日         | 2022年6月1日      |
| 設置車種          | カローラツーリング・シエンタ |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン      |
| 稼働率(2022年12月) | 10.6% (設置後6ヶ月) |

## 4.事例紹介(SANU 2ND Home)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 株式会社SANU殿より、自社の別荘客(会員)の移動手段確保のため、カーシェア車両の設置を事業者へ持ち掛け  |
| 概要   | SANU 2ND Homeは「自然の中にあるもう一つの家」をコンセプトとした月会費制サブスク型別荘でチェックインもスマートで行う。各別荘地最寄り駅付近に設置しており別荘までの移動手段として利用。4WD車で愛犬同伴にも対応。山梨では小淵沢・河口湖、長野では軽井沢・茅野に設置。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>クローズドカーシェアにおける高稼働</li> <li>今後の会員増を見込んだ稼働率アップ<br/>(サブスク入会待ち5,500名の人気物件)</li> </ul>                  |



|               |  |
|---------------|--|
| パターン          | 会員制サブスク型別荘客移動  |
| 事業者           | トヨタレンタリース山梨 / トヨタレンタリース長野                                  |
| 設置年月日         | 2022年11月1日   |
| 設置車種          | R山梨:ヤリス(3台)・ヤリスクロス(4台)<br>R長野:プリウス(2台)・ヴィッツ(2台)            |
| 営業時間・形式       | 24時間・クローズド   |
| 稼働率(2022年12月) | R山梨:小淵沢 37.7%・河口湖 22.3%<br>R長野:軽井沢 33.9%・茅野 25.5% (設置後1ヶ月) |

## 5.事例紹介(富崎ぐるっとバス)



|      |  |
|------|--|
| きっかけ | 包括連携協定を締結している館山市より、高齢者の移動困難を提起、事業者が住民の声を拾い上げ検証含め実施   |
| 概要   | 館山市中心部から約10km離れた高齢化率70%の集落での、ボランティアによる無償送迎サービス。坂道が多くバスが少ない富崎地区での買い物は著しく不便で市はシャトルバスを検討中だが、現時点での課題対応のため毎週土曜日に市に委託された集落支援者が運行、利用料は市が負担。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携強化</li> <li>・地元における事業者の認知度アップ</li> </ul>   |

### 地域での告知



|               |                |
|---------------|----------------|
| パターン          | 高齢者買い物支援ボランティア |
| 事業者           | 勝又自動車          |
| 設置年月日         | 2022年4月16日     |
| 設置車種          | エスクァイア         |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン      |
| 稼働率(2022年12月) | 3.0% (設置後8ヶ月)  |

## 6.事例紹介(ロテルド比叡)



|      |  |
|------|--|
| きっかけ | 法人顧客のホテル総支配人より、宿泊客が交通手段がなく不便を感じられており、何か良い方法は無いかと持ち掛け   |
| 概要   | 宿泊客がホテルに隣接する比叡山ドライブウェイを利用し、観光名所や人気夜景スポットへの周遊用。運営会社が目指す循環型社会の実現と、利用客が給油の手間を省ける様にC+podを採用。充電器設置代は事業者、電気代はホテルが負担。宿泊予約時に会員登録とグループコードを提供。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>顧客困りごと対応による、リース受注など他部門の成果</li><li>地元における事業者の認知度アップ</li></ul>                                   |

### ロテルド比叡HPでも紹介



利用は  
いたします  
ご利用は事前に  
コード・ご登録を  
ことが出来ます。

アプリのダウンロードはこち  
ら iPhone Android

QRコード

|               |                  |
|---------------|------------------|
| パターン          | 観光地ホテル宿泊客周遊      |
| 事業者           | トヨタレンタリース京都      |
| 設置年月日         | 2022年7月14日       |
| 設置車種          | C+pod            |
| 営業時間・形式       | 8:00～22:00・クローズド |
| 稼働率(2022年12月) | 0.6% (設置後5ヶ月)    |

## 7.事例紹介(トヨタレンタカー尼崎店)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 尼崎市よりCO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた啓発を狙いとして、公用車をEV化してアピールする方法を持ち掛けられる  |
| 概要   | 尼崎市がレンタルしている公用車を、休日の買い物や観光などの身近な移動の選択肢として提供、1回の利用につき尼崎市が電子地域通貨「あま咲きコイン」を200Pを付与するという特典付き。市のHPではEV充電スポットマップを掲載するなど身近な乗り物としてEVの利用を促進。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携強化</li> <li>・平日は市の公用車利用で収益確保</li> <li>・地元における事業者の認知度アップ</li> </ul>                    |

### R兵庫HP/尼崎市HPで紹介

The left screenshot shows the Toyota Rent-A-Car R Hyogo website with a banner for 'Eco Drive in尼崎' and a 'C+pod' car image. The right screenshot shows the Amagasaki City website with a banner for '公用車を活用したEVカーシェア' and a 'C+pod' car image.

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| パターン          | 自治体公用車+一般市民開放              |
| 事業者           | トヨタレンタリース兵庫                |
| 設置年月日         | 2022年5月1日                  |
| 設置車種          | C+pod (2台)                 |
| 営業時間・形式       | 8:00～20:00・平日クローズド/祝休日オープン |
| 稼働率(2022年12月) | 土日のみで0.3% (設置後7ヶ月)         |

## 8.事例紹介(広島市立大学)



|      |  |
|------|--|
| きっかけ | 寮生の移動手段がバスのみで、移動可能な時間も制限され買い物にも行けないため、カーシェアを提案されスタート   |
| 概要   | 大学敷地内の学生寮そばにカーシェア実証実験を兼ねて設置、教職員や地域の住民も利用出来る様にオープンカーシェアとし、利用のメインとなる寮生にはグループコードで特別料金を設定。車を持たない学生が多く、周囲に坂道は多いが店舗は少なく、買い物往復1時間の不便さを解消。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との連携強化</li><li>・クローズドカーシェアにおける高稼働</li><li>・県下初の学内STで地元における事業者の認知度アップ</li></ul>            |



寮の周辺は山坂道



|               |                   |
|---------------|-------------------|
| パターン          | 大学生・教職員・周辺住民利便性向上 |
| 事業者           | 広島トヨペット           |
| 設置年月日         | 2022年9月26日        |
| 設置車種          | アクア               |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン         |
| 稼働率(2022年12月) | 11.9% (設置後3ヶ月)    |

## 9.事例紹介(中島 大浦港)



松山市 市政広報テレビ番組や動画チャンネルでも紹介  
<https://www.youtube.com/watch?v=theDngC8T70>



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 松山市のSDGs推進協議会において、市内の離島「中島」を舞台としたスマートアイランド構想が取り上げられ、島内への交流と関係人口拡大に寄与したい思いから設置                     |
| 概要   | 中島の玄関口である大浦港にカーシェア実証実験として設置、平日は島内事業者が業務用車としてクローズド使用、土日は観光客などの島内移動手段としてオープンで運営。地元法人が充電や車両清掃において協力。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との連携強化</li><li>・地元法人の協力で、再商品化での訪問回数低減</li></ul>          |

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| パターン          | 平日法人利用+土日観光客移動             |
| 事業者           | トヨタカローラ愛媛                  |
| 設置年月日         | 2022年7月30日                 |
| 設置車種          | C+pod                      |
| 営業時間・形式       | 6:00～18:00・月～金クローズド/土日オープン |
| 稼働率(2022年12月) | 土日のみで0.3%（設置後5ヶ月）          |

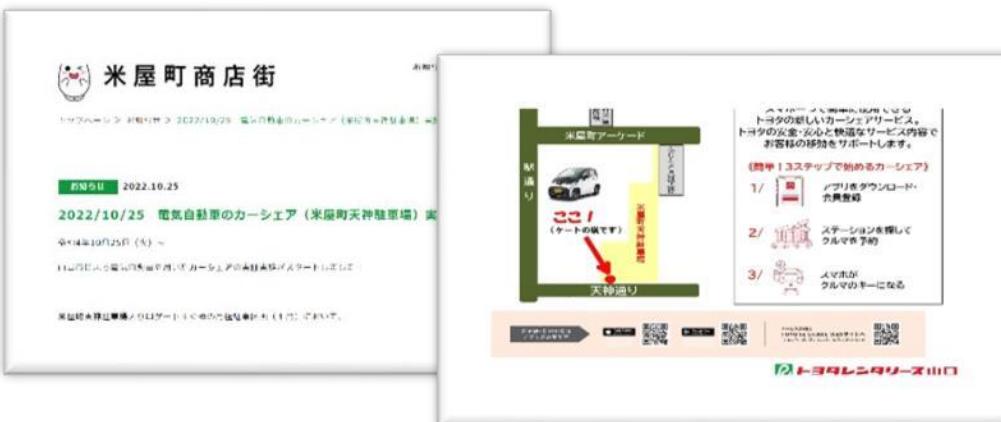
# 10.事例紹介(米屋天神町駐車場)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 公用車シェア化などで関係が築かれている山口市に、街中の移動利便性向上と、まちの活性化に繋げるべく提案  |
| 概要   | 市内中心部に位置する商店街内の駐車場にステーションを構え、商店街に訪れる人の増加と居住の促進を図った実証事業。隣接する地域などへの移動が容易に出来る環境を整えることで、来街者の増加を見込む。TOYOTA SHAREが地元振興会にとっても、地域貢献の一助となっている。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との連携強化</li><li>・地元における事業者の認知度アップ</li></ul>   |

米屋町商店街HPでも紹介

<https://kome-y.com/news/535/#top>



|               |               |
|---------------|---------------|
| パターン          | 市共同カーシェア実証実験  |
| 事業者           | トヨタレンタリース山口   |
| 設置年月日         | 2022年10月25日   |
| 設置車種          | C+pod         |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン     |
| 稼働率(2022年12月) | 1.2% (設置後2ヶ月) |

## 11.事例紹介(湯田温泉ユウベホテル松政 / 西の雅常盤)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 山口県産業戦略部が実施したMaaSの実証実験の終了時に、山口県よりBEVシェアカー設置を要請され、引き継ぎ   |
| 概要   | 観光客に山口の魅力を堪能してもらうため、伝統的かつ優雅な湯田温泉地区の2つのホテルに、細い道でも運転し易いC+podを1台ずつ設置。県や市との積極的な取組みにより、自治体をはじめ地元企業などと関係性が深まり設置に至った一例。今後の温泉街と住民への周知に期待。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との連携強化</li><li>・地元における事業者の認知度アップ</li></ul>   |

### 報道陣へお披露目



|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| パターン          | 地元温泉ホテル観光客移動                          |
| 事業者           | トヨタレンタリース山口                           |
| 設置年月日         | 2022年4月26日                            |
| 設置車種          | C+pod / C+pod                         |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン                             |
| 稼働率(2022年12月) | 湯田温泉ユウベホテル松政1.8% / 西の雅常盤0.9% (設置後8ヶ月) |

## 12.事例紹介(九州地区JR各駅駐車場)



|                 |   |   |   |  |
|-----------------|---|---|---|--|
| きっかけ            | JR九州殿よりトヨタ自動車へ、主要駅近くへのカーシェア設置提案を受け、九州地区の各事業者に参加を求め実現  |   |   |  |
| 概要              | 九州地区における「MaaSとお客様の利便性向上」を目的に、西九州新幹線開業を機とした交通インフラの拡充。各事業者が予測稼働率とコストを勘案し最適地に設置。   |   |   |  |
| メリット            | <ul style="list-style-type: none"> <li>好立地への設置</li> <li>最適ルートアプリ「my route」との連携</li> </ul>   |   |   |  |
| パターン            | JR駅近ドミナント設置   |   |   |  |
| 事業者             | R福岡   | C福岡   | R佐賀   | R熊本  |
| 設置年月            | 22年11月  | 22年12月  | 22年12月  | 22年12月   |
| 台数・車種           | アクア7台   | ヤリスなど5台   | アクアなど4台   | ヤリスなど4台  |
| 営業時間            | 24時間  | 24時間  | 24時間  | 24時間   |
| 稼働率<br>(22年12月) | <ul style="list-style-type: none"> <li>八幡駅駐車場</li> <li>黒崎駅第2P</li> <li>戸畠駅立体P</li> <li>西小倉駅東P<br/>データなし</li> <li>福岡大前 6.9%</li> <li>博多駅 18.9%</li> <li>RJR香椎 12.7%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>六本松421 18.8%</li> <li>千早駅 15.8%</li> <li>南福岡駅 5.1%</li> <li>九大学研都市駅 18.9%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>武雄温泉 2.3%</li> <li>鳥栖駅 3.9%</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>上熊本駅前</li> <li>新八代駅南口前<br/>データなし</li> </ul> |

# 13.事例紹介(ウェルタウンくまもと)



|      |   |
|------|---|
| きっかけ | 試乗車の有効活用とウェルキャブの認知度アップを目的に「福祉車両が必要な時に使えたら」という声に応え設置   |
| 概要   | 福祉車両の専門店舗にウェルキャブ車両を試乗車兼用で設置。施設や学校での行事、買い物や外出、修理等で車両が足りない時などの一時的に必要とされる場面を想定。営業時間内は専任のスタッフが操作方法を案内、利用客用の駐車場を完備するなど万全のフォローアップ体制を準備。 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・試乗車空き時間の有効活用</li> <li>・長時間のウェルキャブ車試乗要望への対応</li> <li>・ウェルキャブ車を含めた新車販促</li> </ul>           |



|               |                   |
|---------------|-------------------|
| パターン          | ウェルキャブ専門店舗試乗兼用    |
| 事業者           | 熊本トヨタ             |
| 設置年月日         | 2022年4月28日        |
| 設置車種          | ノア ウェルキャブ(車いす仕様車) |
| 営業時間・形式       | 24時間・オープン         |
| 稼働率(2022年12月) | データなし(設置後8ヶ月)     |

## 5. リンク

|              |      |   |
|--------------|------|---|
| チョイソコ        | 公式HP | <a href="https://www.choisoko.jp/">https://www.choisoko.jp/</a>   |
| MONET        | 公式HP | <a href="https://www.monet-technologies.com/">https://www.monet-technologies.com/</a>   |
| トヨタシェア       | 公式HP | <a href="https://mobility.toyota.jp/r-toyotashare/index.html?padid=menu_logo">https://mobility.toyota.jp/r-toyotashare/index.html?padid=menu_logo</a> |
| トヨタ<br>レンタカー | 公式HP | <a href="https://rent.toyota.co.jp/">https://rent.toyota.co.jp/</a>   |
| その他          | その他  | 各サイトよりご確認ください   |